弥富北中学校学校だより NO.１７

至誠

平成 28 年 1 月 12 日発行

申年にちなみ、元気よく、積極的に！

１月７日（木）３学期始業式　校長講話より

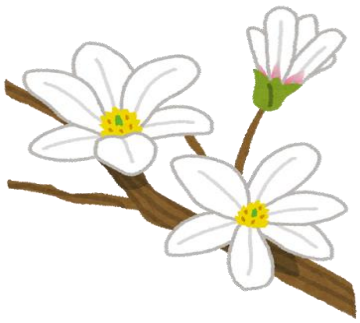
みなさん、明けましておめでとうございます。冬休みの期間、大きな事故もなく、元気な皆さんと会えたことをうれしく思います。２０１６年、誰もが新たな気持ちで、新年を迎えたことと思います。新年を迎え３つのお願いをします。

１つ目は、元気で行動力のある今年の干支サルにちなんで、何事も元気よく、特に挨拶をしっかりお願いします。職員室への入室時、部活動時など元気に挨拶ができていますが、今年はレベルアップをし、一人一人が、いろんな人に会ったときにも、元気な挨拶ができるようにしていきましょう。その元気で、さらに積極的な行動につなげてほしいと願っています。

２つ目のお願いは、いつも、防災等で話していますが、いろいろな情報をしっかりと聞き、いつでもどんな事がおこっても落ち着いて慌てず行動できるようにしてほしいということです。

３つ目は、短い３学期、しっかりとまとめをしてほしいということです。３年生は、いよいよ進路に向け大事な時期です。残りの期間をしっかりとそれぞれの志望実現につなげていきましょう。２年生は、４月から３年生です。北中の伝統を引き継ぎ、全校を引っ張っていける準備をお願いします。１年生は、先輩と呼ばれる時期がせまってきました。先輩として恥ずかしくない準備をしてください。３か月という短い期間ですが、しっかりまとめを行い、全員が、今の学級を笑顔で終わることができるようにがんばってください。

花は生き方を迷わない



１月７日（木）全校朝礼　佐藤先生講話より

どんな花でも、種や球根から芽を出します。そして、葉を広げ、茎を伸ばします。太陽の光を素直に受け入れ、ときには厳しい風雨にさらされても、最後には花を咲かせます。さらに、その後は、また自分の命を次の世代に伝えるために種や球根を残します。だれが見ていようが見ていまいが、自分の生きる意味をきちんと理解しながら、太陽に向かって咲く花を見ていると、私たちは、ひょっとしたらこうした花々よりも頼りない存在なのかもしれないと思ったりします。でも、道端のどんな花でも知っているような、自分のゴールはどこで、そこに向かって自分はどのような生き方をすればよいのかということを私たちは知り得ていないのかもしれません。いや、なかなか知り得ることが難しいのかもしれません。でも、花は生き方を迷いません。よけいな情報に振り回されずに、どこであろうと、どんな環境であろうと、自分のゴールへ向かって進んでいくのです。もちろん、私たちは、迷うからこそ人間といえるのでしょうが、迷うということと振り回されるということは違います。迷うということは、自分のゴール、あるいは目標をもっているからこそ、そこへの途中で、果たしてそこへ到達できるのだろうかと迷うのです。ゴールや目標もなく、ただ、そのときの環境や自分の感情に振り回されるのとは大きな違いがあるわけです。こう考えると、野に咲く花は、いや、アスファルトを突き破って咲く花は、私たちが学ぶべき美しい姿、生き方をしているのかもしれません。いえ、そんな花々に学ぶ控えめな姿勢が大切なんでしょうね。ふっと、そんなことを思いました。